

# 〈組立説明書〉 Aluminum Bench Stocker

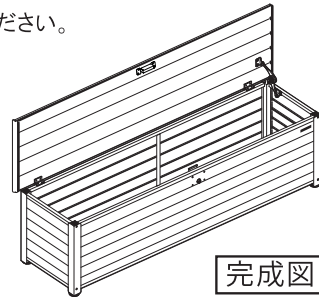
ABS-144NP-C0

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。正しくお使いいただくためにこの組立説明書をよくお読みになり内容を理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。

部品内容をご確認のうえ、正しく組み立ててください。なお、お読みになった後も組立説明書は、大切に保管してください。

## 組立ての前に必ずお読みください

- にぎり手の太い⊕ドライバーをご用意ください。  
(電動ドライバーのご使用はおやめください。)
- 必ず手袋を着用してください。
- 広く平らな場所で組み立ててください。
- 2人以上での組み立てをおすすめします。



完成図

## 部品内容

【①座面】… 1	【②前パネル】… 1 ロゴシール ブッシュ錠	【③後パネル】… 1
【④側面パネルL】… 1	【⑤側面パネルR】… 1 ダンパー 取付け用ねじ穴	【⑥底パネル】… 1 ※平らな面が上面です
【⑦補強】… 3 長さ:(約)44cm		

※イラストに無い穴も開いていますが組立てには使用しません。

⑧～⑮までは部品箱にひとまとめになっています。

【⑧ダンパー】… 1	【⑨ねじ(大)】… 8	【⑩ねじ(小)】… 10	【⑪皿ねじ】… 4	【⑫穴ふさぎキャップ】… 8	【⑬キャップ】… 4	【⑭アジャスター】… 4	【⑮六角レンチ】… 1	【⑯鍵】… 2
------------	-------------	--------------	-----------	----------------	------------	--------------	-------------	---------

⚠ 本製品は、防水設計ではありません。設置場所や収納物に十分なご配慮をお願いいたします。

## 1 側面パネルの組付け

使用する  
部品



① 後パネルの側面レール部にしっかりと差し込む

② C型の穴にねじを通す (Viewの角度から見て作業を行うとねじを通しやすいです。)

Point!  
組み付けにくい場合は、下記の方法をお試しください。  
1: 上図の状態の後パネル上側(穴が4つ開いている側)左右2箇所を先にねじ締めする  
2: 後パネル底側が上に来るようひっくり返してから底側左右2箇所をねじ締めする

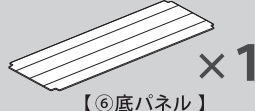
③後パネルの側面レール部に④側面パネルLを差し込み、正面から⑨ねじ(大)で仮締めします。  
⑤側面パネルRも同様に③後パネルの側面レール部に差し込み⑨ねじ(大)で仮締めします。

⚠ 仮締めする前に、組付け場所・組付け方向が間違っていないかご確認ください

⚠ ⑨ねじ(大)は押し込むように徐々に力を入れて奥までしっかり締め込んでください。⑨ねじ(大)はタッピンねじとなっております。タッピンねじは取付け穴にねじ溝を作りながら締めるためのねじで、取付け穴よりねじの方が大きくなっているため、押し込むように徐々に力を入れて奥までしっかり締め込んでください。⑨ねじ(大)を取り付ける際、ドライバー先端の⊕部分と⑨ねじ(大)の⊕が合うドライバーで取り付けてください。また、ドライバーの握りが太く長めのものをご使用された方が楽に取り付けできます。

## 2 底パネルの組付け

使用する  
部品



① 後パネルが下になるように倒します。

② ③後パネル、④側面パネルL、⑤側面パネルRのレール部に⑥底パネルを差し込んでください。

⚠ 底パネルがレール部から外れた場合は差し込み直してください。  
レール部から外れている場合、前パネルが組み付かなくなるおそれがあります

底パネルの外側から見た図  
側面パネルL,Rレール部に底パネルを差し込む

底パネルの内側から見た図  
後パネル底面レール部に底パネルを差し込む

## 3 前パネルの組付け

使用する  
部品



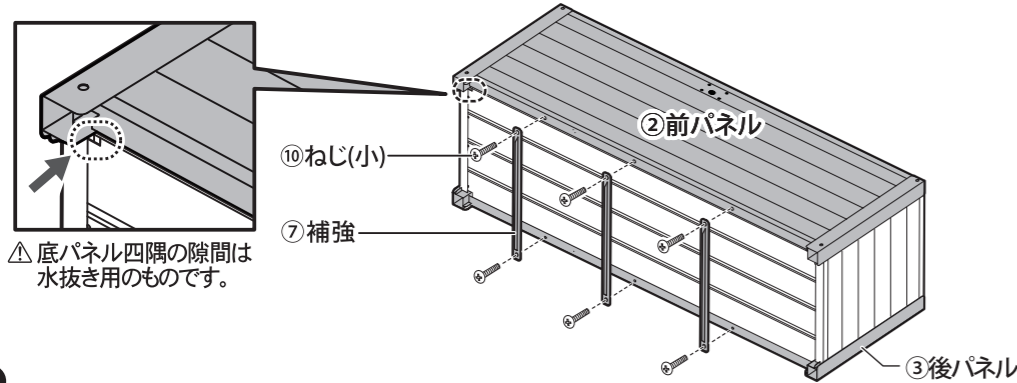
②で組み付けたものに、②前パネルを組み付けます。

②前パネルのレール部に、④側面パネルL、⑤側面パネルR、⑥底パネルの端(右図斜線部分)をしっかりと差し込み、④側面パネルL、⑤側面パネルRのC型の穴に合わせて⑨ねじ(大)で仮締めします。

⚠ ②前パネルのレール部に正しく差し込めていない場合、「本体がガタつく」「②前パネルが浮いて隙間ができる」「⑦補強」が取り付けられないことがありますので、レール部にしっかりと差し込んであることを確認して組み付けてください。また、1人で組み付けづらい場合は、必ず2人以上で組み付けを行ってください

## 4 補強の組付け・本締め

使用する  
部品

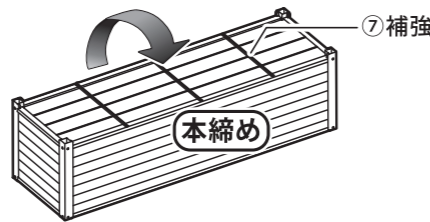


- ① ②前パネルと③後パネルの底面の穴に⑦補強を⑩ねじ(小)でしっかりと組み付けてください。

⚠ 各パネルの組み付けが正しいか確認してから取り付けてください。

⑦補強がうまく取り付けられない場合、各パネルがうまく組み付いていない可能性があります。各パネルが正しく組み付いているか確認し、再度組み付け直して下さい。

- ② ①で組み付けた⑦補強が上になるように倒し、①～⑤で組み付けた全てのねじを(本締め)します。

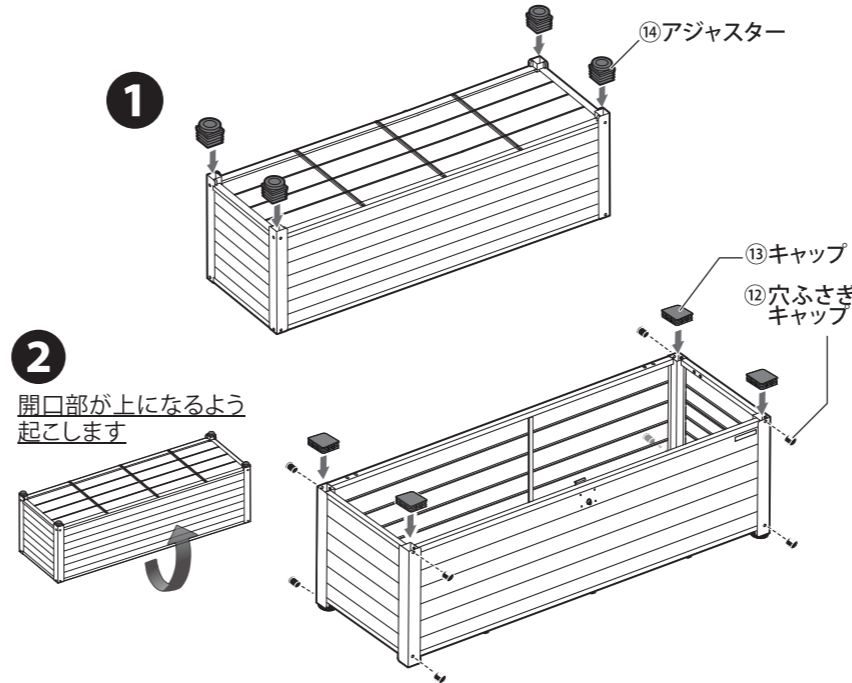


## 5 穴ふさぎキャップ、アジャスター、キャップの組付け

使用する  
部品



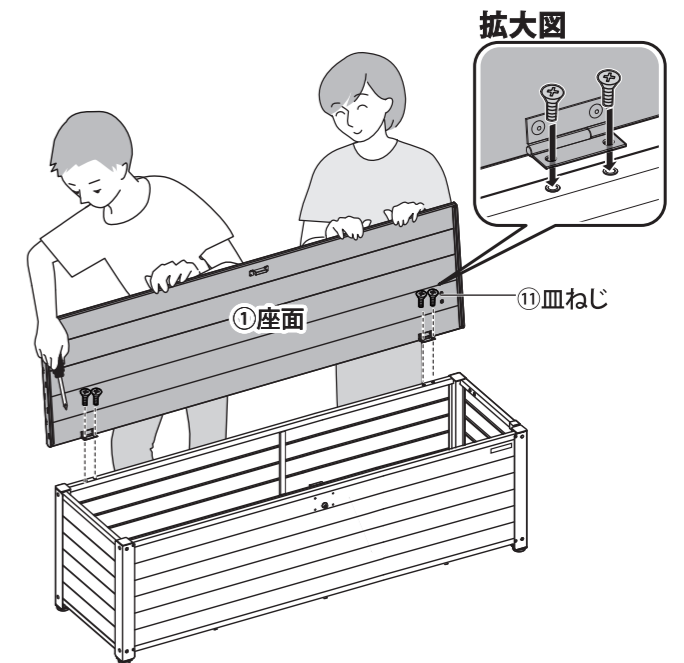
⚠ アジャスター、キャップを取り付ける際は指を挟まないようご注意ください。



- ① 上図のように本体底側の足に⑭アジャスターをはめます。  
② 開口部が上になるように本体を起し、⑬キャップと⑫穴ふさぎキャップをはめます。

## 6 座面の組付け

使用する  
部品



①座面を①皿ねじで組み付けてください。

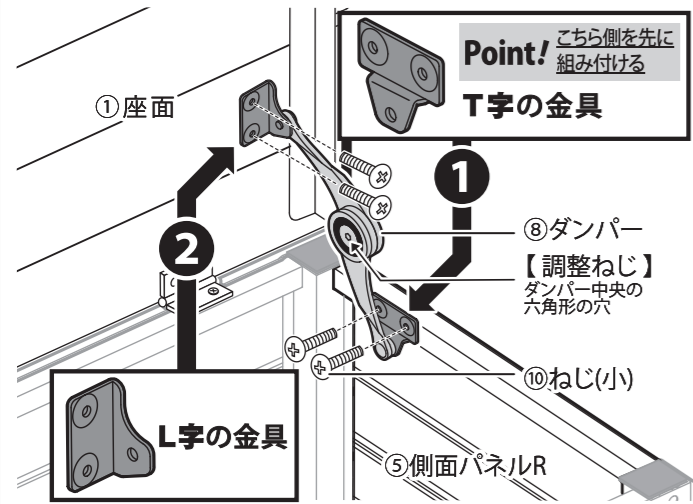
- ⚠ 1人での組み付けが難しい場合は、2人以上で組み付けを行ってください。1人で無理に組み付けようとすると、けがや製品の破損に繋がるおそれがあります。

## 7 ダンパーの組付け

使用する  
部品



⚠ 金具の向きに注意してください。金具の向きを間違えた状態で組み付けると、座面が閉まりません。



- ⑥で組み立てた製品に上図のように⑧ダンパーを⑩ねじ(小)で組み付けます。

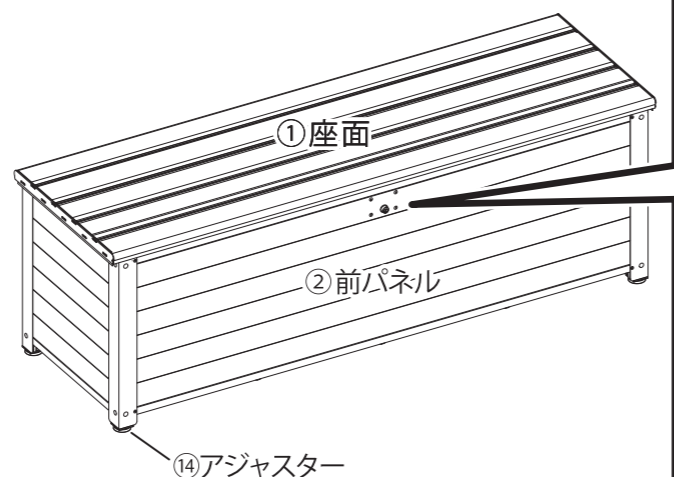
- ①まず、⑧ダンパーが手前側に折れ曲がる向きでT字の金具を⑤側面パネルRに組み付けてください。

- ②次に、L字の金具を①座面側に組み付けてください。

⑧ダンパーは定期的に開閉具合を確認し、ゆるんでいた場合は【調整ねじ】を付属の⑩六角レンチで締めてください。

⑩【調整ねじ】は絶対にゆるめないでください。ゆるめた場合、分解してしまうおそれがあります。

## 完成図



地面に置いた際、本体がガタついている場合は、⑭アジャスターで高さを調整してください。

※②前パネルに付いているプッシュ錠で施錠する事ができます。使用方法は右図の【施錠方法】【解錠方法】を確認してください。

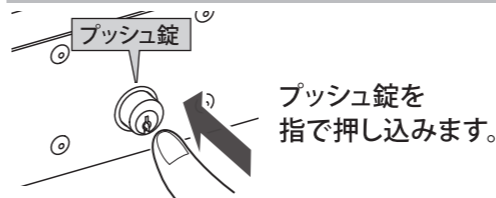
⚠ 本体がゆがんでいると、上扉が正常に閉まらない場合があります。その場合は⑭アジャスターで本体のゆがみを修正してください。

【鍵を紛失した場合】※鍵は有償となります。鍵番号の刻印位置

⑩鍵を紛失した場合、取り寄せに鍵番号が必要となります。プッシュ錠の鍵穴上部の刻印をご確認ください。



## 【施錠方法】



プッシュ錠を指で押し込みます。

プッシュ錠が完全に押し込まれて、①座面が開かなくなったら施錠完了です。

## 【解錠方法】



プッシュ錠に⑩鍵を差し込んで回します。

プッシュ錠が飛び出して①座面が開くようになったら解錠完了です。

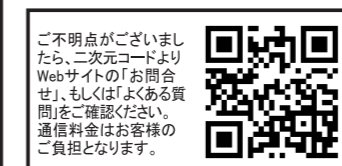
## 使用上の注意事項 安全のために必ずお守りください。

### ⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをした場合、使用者が傷害を負う危険が想定される、又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- △ 屋外で使用の際は、収納部には雨や雪等で濡れても支障の無い物を収納してください。
- △ 貴重品は収納しないでください。
- △ ①座面を開閉する際は、手や指を挟まないように十分注意してください。
- △ 平坦な場所でご使用ください。また、地盤の悪い所での使用はおやめください。
- △ 風の強い日は、しっかりと固定をするか、屋内等の安全な場所へ移動させてください。
- △ 夏場など炎天下に放置すると、表面温度が上がり、やけどの原因となりますので十分ご注意ください。(お子様や、ご年配の方がいるご家庭では、特にご注意ください。)
- △ 製品の清掃をする際は、水洗いし、乾いた布で拭いてください。汚れを拭く際にシンナー、ベンジン等は絶対に使用しないでください。変色等の原因となります。
- △ 永くご使用いただくために、⑧ダンパーの調整ねじ、⑨ねじ(大)、⑩ねじ(小)、⑪皿ねじがゆるんでくる場合がありますので、定期的に確認し、締め付けてください。
- △ 集合住宅等のベランダに設置される場合、消防法上、可燃物や仕切り板・避難ハッチ・消防隊進入口サッシの傍には設置を避ける義務があります。収納物又は設置にあたっては、管理組合にご相談ください。
- △ 座面固定時は、座面に力をかけたり、本体に衝撃や揺れを与えないでください。
- △ 本製品の収納部には、合計で80kg以上のものを入れないようにしてください。
- △ 本製品の座面部には、合計で100kg以上のものを載せないようにしてください。
- △ 内寸法より大きいものを入れないでください。本体が変形するおそれがあります。
- △ 小さなお子様のいるご家庭では特に注意してご使用ください。小さなお子様は時に大人では考えも付かない行動をとる場合がありますので、十分な注意を払ってご使用ください。
- △ お子様が進み台にして転落しないよう、十分ご注意ください。
- △ ご使用の際は、座面の中央部に体重をかけ、バランスよくご使用ください。
- △ 本体の上で跳びはねる等の強い衝撃を与えないでください。
- △ 踏み台としてのご使用の際は、座面中央部に体重をかけてください。転倒又は座面が開くおそれがあります。
- △ 施錠した状態で①座面を持ち上げないでください。変形、破損のおそれがあります。
- △ 収納物の盗難、破損、紛失が発生した際の責任は負いかねますのであらかじめご了承ください。
- △ 本製品はベンチ型ストッカーですので、防犯性の高いものではありません。
- △ いたずら、あるいは配達業者様の過失による荷物の損傷、紛失、盗難が発生した場合の保証は致しかねますのであらかじめご了承ください。

■仕様■ 本体…アルミニウム(エポキシ樹脂塗装) 座面の高さ…(約)48.5cm(アジャスター含む)  
内寸法 (約)136×40.5×41.5cm



製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。  
●ご不明点がございましたら下記フリーダイヤル、グリーンライフ「お客様サービス係」までお問い合わせください。  
フリーダイヤル 受付窓口 0120-717152  
受付時間▶9:00~12:00、13:00~17:00  
(土・日・祭日・夜間は留守番電話になります。)

株式会社 グリーンライフ  
本社 新潟県三条市南四町3-7-58  
〒955-0852 TEL(0256)36-4001(代)  
FAX(0256)36-4050  
E-mail: niigata@greenlife-web.co.jp  
URL: https://www.greenlife-web.co.jp